**～MS&ADサイバーセキュリティ研究会～**

1. **目的**

MS&ADグループにおける、サイバーセキュリティに関する先進的な研究と情報の集約管理を行い、グループ事業会社が開発する商品・サービスにおけるサイバーセキュリティ上のリスクについて、助言・アドバイスを行う

1. **研究会メンバー・事務局**

＜研究会　座長＞

佐々木 良一　東京電機大教授・インタ総研顧問

＜外部有識者会員＞※下記メンバーから３～４名

丸山代表（デロイト）、名和代表（サイバーディフェンス研究所）、高橋氏　⇒トレンド

蔵本代表（White Motion）、菊池教授（明治大）、上原教授（立命館大）、　 ⇒技術

須川教授（新潟大）、湯浅教授（情報セキュリティ大）、夏井教授（明治大）⇒法律

＜グループ各社・研究会員＞

MS：火新部長、責任チーム長、モデリングチーム長、損サ業・火新チーム

AD：企業商品部長、サイバー保険室長

持株：リスク管理部、IT企画部・ITガバナンスチーム

＜事務局＞

　インターリスク総研・新領域開発室

1. **機能・役割**

* サイバーセキュリティに関する先進的な研究と情報の集約管理を行う
* グループ事業会社が開発する商品・サービスにおける、サイバーセキュリティに関連する助言・アドバイスを外部有識者から得て、課題を解決する

1. **開催・運用・議事録・個別テーマの出席者**
2. 開催は３か月に１回程度とし、原則４月、７月、１０月、１月（或いは２月）に開催とする
3. 会員は自由に意見を発表してよい。また会員は本研究会における発言内容、発表資料、ならびに決定事項について、特段の許可がない限りにおいては守秘義務を負い、外部に漏らしてはいけない。
4. 本研究会の議事の結果は議事録として事務局が作成し、研究会出席者メンバーに確認を行い、確定させたものを保管する。
5. 個別テーマに基づく出席者（個別ゲスト）は、事務局が座長の承認を得たうえで、研究会に招待し、会員に開催案内と同時に案内をする。
6. **サイバーセキュリティ連絡会**

本研究会の下部にグループ内各社の連絡会として、サイバーセキュリティ連絡会を設置する。メンバーは以下とし、開催頻度は月一回＋必要に応じて臨時開催とする。

＜連絡会メンバー＞

MS：火新部・責任チーム長、モデリングチーム長

AD：企業商品部・新種グループ長

＜事務局＞

　インターリスク総研・新領域開発室

1. **課題**
2. 外部有識者の謝金について決定及び予算化が必要。２～５万円/回程度が妥当か。

（外部有識者４名として、年間３２～８０万円の経費）

（参考：国の有識者謝金、トップクラスの会議・待遇で22,700円/日）

1. 外部有識者へのご依頼～ご了承受諾
2. 関係部署との最終調整
3. **今後のスケジュール**

18年1月： 研究会立ち上げに向けて、サイバーセキュリティ連絡会を立ち上げ。

（連絡会での検討事項は別途調整）

外部有識者・謝金確定

外部有識者との交渉開始（2月末クロージング目標）

18年2月： 外部有識者決定

関係各部との調整完了/出席メンバー確定

第一回（4月開催）議題＆日程確定

18年3月： メンバーの人事異動反映

第一回の個別ゲストがいる場合は、交渉～確定

以上